

**順次性のある体系的な教育課程の
再構築に向けて
—ナンバリング実施の手引き—**

**平成28年1月19日
教育推進・学生支援機構**

1. ナンバリングの目的

(1) ナンバリングとは？

ナンバリングとは、本学で実施されている授業科目（教養教育科目、学部専門科目、大学院専門科目等）について、授業内容・レベル等に応じて特定のナンバーを付与し、シラバス等に記載することにより、体系的な教育プログラムの実現を目指すものです。

授業科目のナンバリングを実施することにより、各部局で順次性のある体系的な教育課程を構築・確認することができ、カリキュラムの改善のきっかけとすることができます。学生にとっても、学修したい分野について、どのように学修を進めていけば良いか等が明確になり、体系的な学修を進めることが可能となるメリットがあります。

今日、日本の大学においてはPDCAサイクルに即した組織運営が求められるようになってきました。PDCAサイクルは、製品管理に用いられてきた手法で、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返すことによって組織（カリキュラム）を継続的に改善することが、その目的です。ナンバリングの実施は主にPlanの部分に相当しますが、大学に求められている計画にはいくつかあり、ナンバリングはそのひとつです。系統的にカリキュラムを設定するには、Planに位置付けられるその他の項目も、同時に検討することが不可欠です。

現在、Planに関して日本の大学に整備が期待されている事項は、DP（ディプロマ・ポリシー）（※1）、CP（カリキュラム・ポリシー）（※2）、AP（アドミッション・ポリシー）、ナンバリング、カリキュラムマップ（※3）です。

※1 ディプロマ・ポリシー：学位授与に関する基本的な考え方について、各大学が、その独自性並びに特色を踏まえ、まとめたもの。この方針において、卒業（修了）生に身に付けさせるべき能力に関する大学の考えを示すことにより、受験者が大学を選択する際や、企業等が卒業（修了）生を採用する際の参考となる。

※2 カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施方法に関する基本的な考え方をまとめたもの。この方針の策定に当たっては、教育課程の体系化、単位の実質化、教育方法の改善、成績評価の厳格化等について留意することが必要である。

※3 カリキュラムマップ：カリキュラムの順次性が一目で把握できるように、学部・学科等ごとの教育課程を体系的に図示したもの。

(2) 順次性のある体系的な教育課程の再構築の必要性とその意義

教育課程の体系化については、平成20年12月24日中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」において、大学に期待される取り組みとして、「学習成果や教育研究上の目的を明確化した上で、その達成に向け、順次性のある体系的な教育課程を編成する（教育課程の体系化・構造化）」ことが掲げられております。また、本学の第2期中期計画においても「基礎教育、共通教育、専門教育の体系的な教育課程において、学生自身が能力を自己点検し

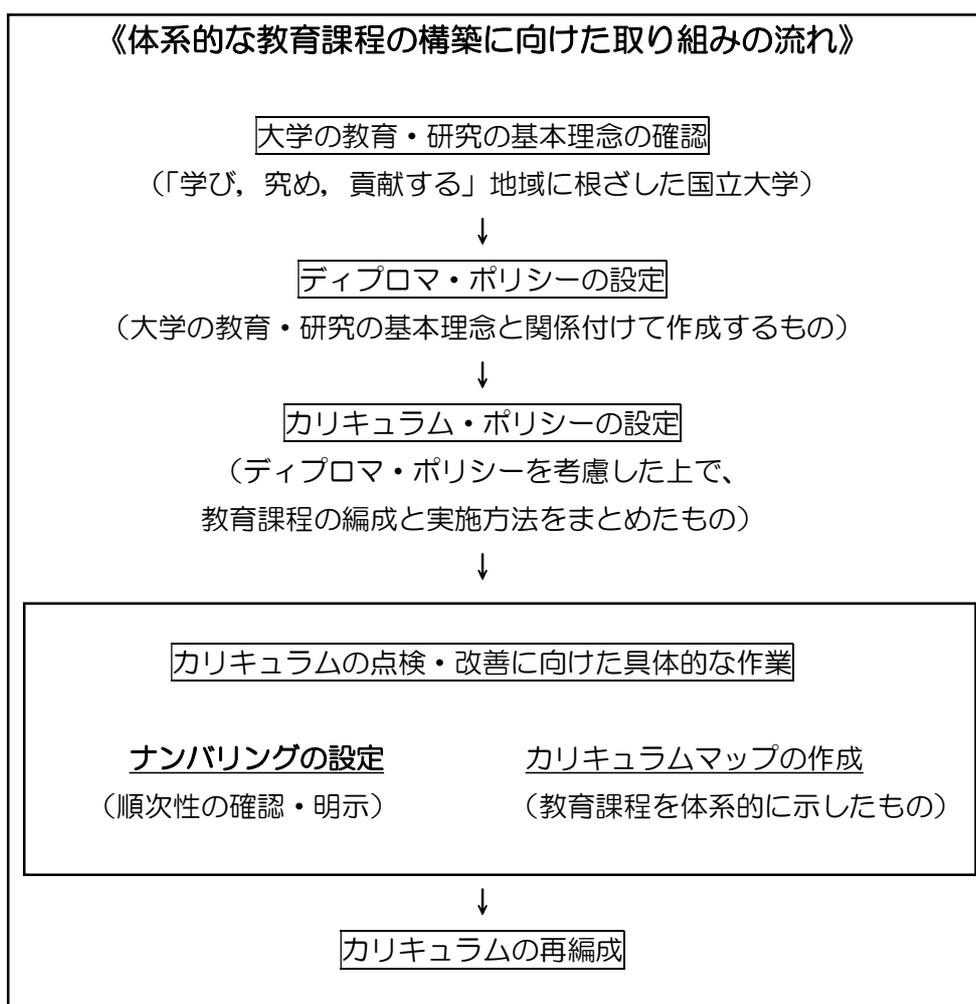
て学習成果を確認できるシステムを構築する」ことが掲げられております。

このことに関して本学では、各学部・研究科等それぞれで体系的な教育課程を設定しているところではありますが、その体系性や順次性について本当に適切な教育課程となっているか点検するための体制、及び点検に基づいた改善のための体制が十分に構築されているとは言えません。また、教育課程の体系性・順次性が学生に明示されているかという点でも十分であるとは言いがたい状況であると思います。

このように、「順次性のある体系的な教育課程の構築」という課題は、その達成が早急に求められている状況です。今回のナンバリングの実施は、各部局における DP、CP 及びカリキュラムマップ等の策定といったことと合わせて、課題を達成するための重要な手段の 1 つであるということが出来ます。

(3) 体系的な教育課程の再確認に向けた取り組み

順次性のある体系的な教育課程を再構築するための取り組みの流れをまとめると、以下のようになります。こうした流れを踏まえ、それぞれの取り組みを実施していただきたいと思えます。



2. ナンバリングコードの意味・名称

ナンバリングの形式は、大学毎に異なります。国内だけでなく海外の大学を見ても共通の形式で実施している例はありません。各大学に共通している事項としては、「レベル」を示す数字を一番頭に充てている程度です。数字の中で示されている学問分野も共通するようなものではありません。そこで岐阜大学では、教学企画室での議論を踏まえ、次のようなナンバリングの形式を採用することとしました。

| | |
|---------------|---------|
| A B C _ D E F | 1 2 3 4 |
|---------------|---------|

- A B C : 大分類コード (部局等コード)、3文字が基本、特例として4文字)
_ : アンダーバー
D E F : 大分類コード (学科等コード)、3文字が基本、特例として4文字)
1 : レベルコード
2 : 中分類コード (16進数)
3 : 小分類コード (16進数)
4 : 授業形態コード

本学のナンバリングコードは、「開講部局と開講学科等」を示す英字 (上記の「A B C _ D E F」の部分) と「レベル、学問分野、授業形態」を示す4桁の数字 (上記の「1 2 3 4」の部分) で構成されます。

これらのコードのうち、英字部分のアンダーバー (_) 以前の最初3文字 (特例として4文字) が開講部局等を示す「部局等コード」となります。アンダーバー以降の3文字 (特例として4文字) が開講学科等を示す「学科等コード」となります。これら2つを合わせたものが「大分類コード」となります。なお、開講部局等とは、カリキュラムの実施主体である学部、研究科等を指し、開講学科等とは、カリキュラムの実施主体である学科、専攻、コース等をさします。

また、4桁の数字は1桁目からそれぞれ、授業のレベルを示す「レベルコード」、学問分野を示す「中分類コード」と「小分類コード」、そして授業の形態を示す「授業形態コード」となります。このうち、「中分類コード」と「小分類コード」は、16進数で表記します。

※そのほか、当該科目で使用される言語が英語の場合、あるいは日本語と英語の併用の場合は、「授業形態コード」の後に「言語コード」をつけます。**使用言語が日本語のみ**
の場合は、「言語コード」を使用しません。

3. ナンバリング作業

(1) 大分類コードの設定

大分類コードは、カリキュラムの実施主体を示すコードになります。下表の該当箇所をご覧ください、問題が無ければそのまま、修正が必要なときは朱書きにて変更ください。

コードはアルファベット（大文字）で、最初の3文字（特例として4文字）は当該科目を開講する学部・研究科等を示す「部局等コード」となります。この後に、アンダーバー（ ）を付けて、3文字（特例として4文字）で学科・専攻・コース等を示す「学科等コード」を設定してください。

大分類コード設定の原則

- Faculty of - , Graduate School of - などの部分は、コードに入れないでください。
- Faculty of Education のように Faculty of の後に続く単語が1つの場合、その単語の最初の3文字をコードにしてください（EDU）。
- Faculty of Regional Studies のように Faculty of の後に続く単語が2つの場合、2つの単語の文字から適宜3文字を選んでコードにしてください（RES）。
- Faculty of Applied Biological Sciences のように、Faculty of の後に続く単語が3つの場合、3つの単語の最初の文字をコードにしてください（ABS）。
- United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences のように United Graduate School of の後に続く単語が4つ以上の場合、それらの単語から適宜3、4文字を選んでコードにしてください（DMS）。
- 学部と大学院（修士）で大分類コードが同一になっても、レベルコードが異なりますので区別できます。
- 部局・学科等の英語名称は、学術国際部が定めた表記（参考資料）を用いております。

◇部局等コード【学部等】

| 学 部 等 | 部局等コード |
|--|--------|
| 教育推進・学生支援機構／ Organization for Promotion of Higher Education & Student Support | ORES |
| 教育学部／Faculty of Education | EDU |
| 地域科学部／Faculty of Regional Studies | RES |
| 医学部／School of Medicine | MED |
| 工学部／Faculty of Engineering | ENG |
| 応用生物科学部／Faculty of Applied Biological Sciences | ABS |

◇部局等コード【大学院】

| 大 学 院 | 部局等コード |
|--|--------|
| 教育学研究科／Graduate School of Education | EDU |
| 地域科学研究科／Graduate School of Regional Studies | RES |
| 医学系研究科／Graduate School of Medicine | MED |
| 工学研究科／Graduate School of Engineering | ENG |
| 応用生物科学研究科／Graduate School of Applied Biological Sciences | ABS |
| 大学院連合農学研究科／United Graduate School of Agricultural Science | AGS |
| 大学院連合獣医学研究科／United Graduate School of Veterinary Sciences | VES |
| 大学院連合創薬医療情報研究科／ United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences | DMS |

◇部局等コード【全学共通科目】

| 学 部 等 | 部局等コード |
|--|--------|
| 教育推進・学生支援機構／ Organization for Promotion of Higher Education & Student Support | ORES |
| 研究推進・社会連携機構／ Organization for Research & Community Development | ORRC |
| 流域圏科学研究センター／River Basin Research Center | RBR |
| 留学生センター／International Student Center | INS |

◇学科等コード【全学共通科目】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|--|--------|
| 教養教育推進部門／Liberal Arts Education Division | LAE |
| 教職課程支援部門／Teacher's License Acquisition Support Division | TLAS |
| キャリア支援部門／Career-Formation Support Division (Career Center) | CFS |

◇学科等コード【教育学部】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 教職科目／ | |
| 小学校関係／ | |
| 教員免許得以外の各種資格関係／ | |
| 国語教育講座／National Language Education | NAL |
| 社会科教育（史学）講座／Social Studies Education(History) | SOSH |
| 社会科教育（地理）講座／Social Studies Education(Geography) | SOSG |
| 社会科教育（法律・経済）講座／Social Studies Education(Law-Economics) | SOSL |
| 社会科教育（哲学）講座／Social Studies Education(Philosophy) | SOSP |
| 数学教育講座／Mathematics Education | MAT |
| 理科教育（物理）講座／Science Education(Physics) | SCIP |
| 理科教育（化学）講座／Science Education(Chemistry) | SCIC |
| 理科教育（生物）講座／Science Education(Biology) | SCIB |
| 理科教育（地学）講座／Science Education(Earth Science) | SCIE |
| 音楽教育講座／Music Education | MUS |
| 美術教育講座／Art Education | ART |
| 保健体育講座／Health & Physical Education | H&P |
| 技術教育講座／Technology Education | TEC |
| 家政教育講座／Home Economics Education | HOE |
| 英語教育講座／English Education | ENG |
| 学校教育（心理学コース）講座／School Education(Psychology) | SCLP |
| 学校教育（教職基礎コース）講座／ School Education(Fundamentals of Education) | SCLF |
| 特別支援教育講座／Special Needs Education | SPN |

◇学科等コード【地域科学部】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---------------------------------------|--------|
| 地域政策学科／Department of Policy Studies | POS |
| 地域文化学科／Department of Cultural Studies | CUS |

◇学科等コード【医学部】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 医学科／Medical Course | MED |
| 看護学科／Nursing Course | NUR |
| 医学教育開発研究センター／Medical Education Development Center | MEDC |

◇学科等コード【工学部】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 社会基盤工学科／Department of Civil Engineering | CIV |
| 機械工学科／Department of Mechanical Engineering | MEE |
| 化学・生命工学科／Department of Chemistry & Biomolecular Science | CBS |
| 電気電子・情報工学科／ Department of Electrical, Electronic & Computer Engineering | EECE |
| 附属インフラマネジメント技術研究センター／ Center for Infrastructure Asset Management Technology and Research | IMTR |

◇学科等コード【応用生物科学部】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 応用生命科学課程／Course of Applied Life Science | ALS |
| 生産環境科学課程／Course of Agricultural and Environmental Science | AES |
| 共同獣医学科／Joint Department of Veterinary Medicine | VEM |

◇学科等コード【教育学研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|--|--------|
| 教職実践開発専攻／Teacher Education Course | TEE |
| 心理発達支援専攻／Supporting Psychological Development Course | SPD |
| 総合教科教育専攻／Major in Subject-Integrated Education | MSI |

◇学科等コード【地域科学研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|-------------------------|--------|
| 地域政策専攻／Policy Studies | POS |
| 地域文化専攻／Cultural Studies | CUS |

◇学科等コード【医学系研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|--|--------|
| 医科学専攻／Medical Sciences | MEDS |
| 再生医科学専攻／Regeneration & Advanced Medical Sciences | RAMS |
| 看護学専攻／Nursing Sciences | NURS |

◇学科等コード【新研究科（工学研究科・応用生物科学研究科）】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|-------|--------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

◇学科等コード【大学院連合農学研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|--|--------|
| 生物生産科学専攻／Science of Biological Production | SBP |
| 生物環境科学専攻／Science of Biological Environment | SBE |
| 生物資源科学専攻／Science of Biological Resources | SBR |

◇学科等コード【大学院連合獣医学研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---------------------------|--------|
| 獣医学専攻／Veterinary Sciences | VES |

◇学科等コード【大学院連合創薬医療情報研究科】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 創薬科学専攻／Medicinal Sciences Division | MES |
| 医療情報学専攻／Medical Information Sciences Division | MIS |

◇学科等コード【研究推進・社会連携機構】

| 学 科 等 | 学科等コード |
|---|--------|
| 金型創成技術研究センター／ Center for Advanced Die Engineering & Technology | ADET |

(2) レベルコードの設定

レベルコードは、当該科目の授業のレベルを示すコードとなります。各レベル体系は全学で統一するものであり、下表に従って設定してください。なお、開講学年とレベルは一致するものではありません（4年次学生向けの科目であっても3000番台など）ので、ご注意願います。

0000番台は、リメディアル科目等の学部開講科目で単位認定を伴わない科目を設定してください。

1000番台は、「初年次セミナー」や教養科目、学部開講「教養基礎科目」等の教養教育科目を設定してください。そのほか、学部共通基礎科目や基礎的な内容の専門科目等の学部専門科目も1000番台に設定してください。

2000番台は、高年次対象科目や次世代地域リーダー実践等の教養教育科目を設定してください。そのほか、学部共通基礎科目や学科共通科目、基礎的な内容の専門科目等の学部専門科目も2000番台に設定してください。

3000番台は、発展的な内容の専門科目やコース科目等の学部専門科目を設定してください。

4000番台は、卒業論文・卒業研究関連科目等の学部専門科目を設定してください。医学部医学科と共同獣医学科の場合は、5～6年科目等の学部専門科目を設定してください。

5000番台は、大学院の修士課程・博士前期課程・専門職課程における大学院共通科目や基礎的な内容の科目等の大学院専門科目を設定してください。

6000番台は、大学院の修士課程・博士前期課程・専門職課程における発展的な内容の科目や研究指導科目等の大学院専門科目を設定してください。

7000番台は、大学院の博士課程・博士後期課程における研究指導科目等の専門科目を設定してください。

9000番台は、海外への留学を内容とするものやレベル分けが出来ない科目等を設定してください。

| レベルコード | | |
|---|--|-------------------|
| 0000番台：リメディアル科目（学部開講科目で、単位認定を伴わない科目） | | 学部 科目 |
| 1000番台：教養教育科目（「初年次セミナー」、教養科目、学部開講「教養基礎科目」） ：学部専門科目（学部共通基礎科目、基礎的な内容の専門科目等） | | |
| 2000番台：教養教育科目（高年次対象科目、「次世代地域リーダー実践」等） ：学部専門科目（学部共通基礎科目、学科共通科目、 基礎的な内容の専門科目） | | |
| 3000番台：学部専門科目（発展的な内容の専門科目、コース科目等） | | |
| 4000番台：学部専門科目（卒業論文・卒業研究関連科目等、 医学部医学科と共同獣医学科5～6年科目） | | |
| 5000番台：大学院（修士課程・博士前期課程・専門職課程） 専門科目（大学院共通科目、基礎的な内容の科目） | | 大学 院 科 目 |
| 6000番台：大学院（修士課程・博士前期課程・専門職課程） 専門科目（発展的な内容の科目、研究指導科目） | | |
| 7000番台：大学院（博士課程・博士後期課程）専門科目（研究指導科目を含む） | | |
| 9000番台：その他（海外への留学を内容とするもの、レベル分けが出来ない科目等） | | |

(3) 中分類コードの設定

中分類コードは当該科目の学問分野を示すコードとなり、部局等毎に16進数で設定してください。数字は0から始まり9まで、その後はアルファベット(A~F)を用いてください。アルファベットは大文字を用いてください。

(4) 小分類コードの設定

小分類コードは当該科目の中分類以下の学問分野を示すコードとなり、部局等毎に16進数で設定してください。中分類コードと同じく、数字は0から始まり9まで、その後はアルファベット(A~F)を用いてください。アルファベットは大文字を用いてください。

(5) 授業形態コードの設定

授業形態コードは当該科目の授業形態を示すコードとなります。講義の場合は1、実験の場合は2、演習の場合は3、実習（実技、インターンシップを含む）の場合は4、で設定してください。

※言語コードの設定

言語コードは、当該科目で使用される言語を示すコードとなり、使用言語が英語の場合はe（小文字）、日本語と英語を併用する場合はb（小文字）で設定してください。この「言語コード」は「授業形態コード」の後につけます。なお、使用言語が日本語のみの場合は、言語コードを設定しないでください。

・中分類コード・小分類コードについて、医学部看護学科の例を示します。

■中分類コード・小分類コード【医学部看護学科】

| 区 分 | 中分類コード | 分 野 | 小分類コード |
|-------|--------|-------------|--------|
| 基礎科目 | 0 | 医学概論 | 0 |
| | | 地域福祉活動 | 1 |
| | | 医療英語Ⅰ | 2 |
| | | 医療英語Ⅱ | 3 |
| | | 医療英語Ⅲ | 4 |
| | | 基礎情報学 | 5 |
| | | 生命倫理論 | 6 |
| 基礎看護学 | 1 | 看護学原論 | 0 |
| | | 初期体験実習 | 1 |
| | | 基礎看護技術 | 2 |
| | | 基礎看護技術 | 3 |
| | | 看護倫理 | 4 |
| | | 看護アセスメント演習 | 5 |
| | | フィジカルアセスメント | 6 |
| | | 基礎看護学実習 | 7 |
| | | 看護管理論 | 8 |
| 生命機能学 | 2 | 形態機能学Ⅰ | 0 |
| | | 形態機能学Ⅱ | 1 |
| | | 形態機能学Ⅲ | 2 |
| | | 生化学 | 3 |
| | | 疾病の成因と予防Ⅰ | 4 |
| | | 疾病の成因と予防Ⅱ | 5 |
| | | 薬理学 | 6 |
| | | 薬剤学 | 7 |
| | | 栄養学 | 8 |
| | | 遺伝情報学 | 9 |
| 母性看護学 | 3 | 女性の健康と看護 | 0 |
| | | 周産期看護論 | 1 |
| | | 母性看護方法Ⅰ | 2 |
| | | 母性看護方法Ⅱ | 3 |
| | | 母性看護学実習 | 4 |
| 小児看護学 | 4 | 小児看護論 | 0 |
| | | 小児健康援助論 | 1 |
| | | 小児看護方法Ⅰ | 2 |

| | | | |
|----------|---|---------------|---|
| | | 小児看護方法Ⅱ | 3 |
| | | 小児看護学実習 | 4 |
| 成人看護学 | 5 | 成人・老年病態論Ⅰ | 0 |
| | | 成人・老年病態論Ⅱ | 1 |
| | | 成人看護論 | 2 |
| | | 慢性期看護方法Ⅰ | 3 |
| | | 急性期看護方法Ⅰ | 4 |
| | | 慢性期看護方法Ⅱ | 5 |
| | | 急性期看護方法Ⅱ | 6 |
| | | 成人慢性期/急性期事例展開 | 7 |
| | | 慢性期看護学習 | 8 |
| | | 急性期看護学習 | 9 |
| | | リハビリテーション論 | A |
| | | 救急看護 | B |
| | | 老年看護学 | 6 |
| 老年看護論 | 1 | | |
| 老年看護方法Ⅰ | 2 | | |
| 老年看護方法Ⅱ | 3 | | |
| 老年看護学実習Ⅰ | 4 | | |
| 老年看護学実習Ⅱ | 5 | | |
| 認知症と看護 | 6 | | |
| 地域看護学 | 7 | 在宅看護論 | 0 |
| | | 家族看護学 | 1 |
| | | 公衆衛生看護学概論 | 2 |
| | | 保健統計学 | 3 |
| | | 地域における健康危機管理 | 4 |
| | | 在宅看護方法 | 5 |
| | | 在宅看護学実習 | 6 |
| | | 疫学 | 7 |
| 精神看護学 | 8 | 精神看護論 | 0 |
| | | 精神看護方法Ⅰ | 1 |
| | | 精神看護方法Ⅱ | 2 |
| | | 精神看護学実習 | 3 |
| | | 音楽療法 | 4 |
| 発展看護学 | 9 | 研究方法論 | 0 |
| | | 統合実習 | 1 |
| | | 卒業研究 | 2 |
| | | 感染と看護 | 3 |

・作業用シート

作業のために以下のシートをご使用ください。

| 区 分 | 中分類コード | 分 野 | 小分類コード |
|-----|--------|-----|--------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

〈謝辞〉

この手引きを作成するにあたり、北海道大学教育改革室（編）『順次性のある体系的な教育課程の構築に向けて～ナンバリング実施の手引き～』（平成 25 年 6 月）を参考にさせていただきました。記して感謝します。